



2017年10月4日

## クラウド型エネルギー分析ツール「GODAクラウド/SatToolクラウド」が 「2017年度グッドデザイン賞」を受賞

高砂熱学工業株式会社  
本社・東京都新宿区新宿6-27-30  
会長兼社長・大内 厚、資本金13,134百万円

高砂熱学工業株式会社はこの度、パナソニック株式会社と共同開発を行ったクラウド版データ収集分析ツール「GODAクラウド/SatToolクラウド」(\*1)にて、2017年度のグッドデザイン賞 (\*2)を共同で受賞しました。

(\*1) 本ツールは共同受賞のため、GODAクラウドは高砂熱学工業の商品名、SatToolクラウドはパナソニック株式会社の商品名を併記しています。

### 【GODAクラウドとは】

GODAクラウドは、施設のCO<sub>2</sub>排出量削減に貢献する、クラウド型エネルギー分析サービスのインフラツールです。GODAクラウドを使用して、施設のエネルギー使用量や空調設備などの運転データを分析することにより、効率的な省エネ運用へ改善を図ることができます。

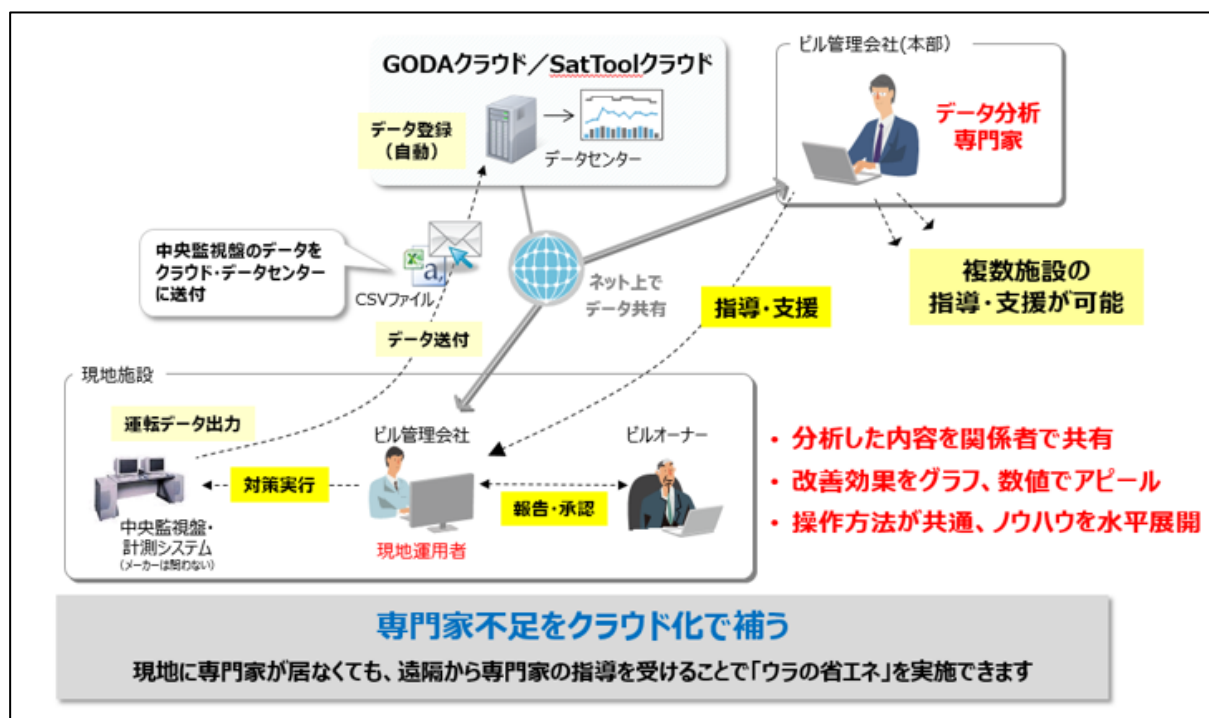
運転データはクラウド上に保存されるため、高度なスキルを持つ設備の専門家が遠隔地から広範囲にわたる多数の施設の省エネ運用をサポートすることが可能となります。直感的な簡単操作で分析グラフの作成ができ、そのグラフを現場運用者と共有することによって、遠隔地にいる設備の専門家と現場運用者が連携して運用改善を図ることができます。

ビルの中央監視装置に専用の通信装置を設置して、設備運転データをクラウド上の専用データベースに収集します。分析をする技術者はインターネット環境からGODAクラウドにアクセスし、設備の運用を分析します。分析結果はグラフアイコンとして保存され、関係者によって共有できます。クラウド上で技術者がビル運用データを効率良く分析し、施設の所有者や運用者へ省エネ提案を行うことができます。

当社とパナソニック株式会社 エコソリューションズ社はパナソニック東京汐留ビルで本ツールの前身であるGODAを使用し、13年連続で対前年エネルギー使用量を削減しつづけ、竣工初年度比51.9%減を達成。2016年度の東京都トップレベル事業所認定を取得しました。本ツールは現在、約200施設にサービスを適用しています。

グッドデザイン賞審査では「施設のエネルギー使用量や空調設備の運転データをクラウド上に保存し、分析ツールを活用して現場運用者と分析内容を共有することにより、高度なスキルを有する専門家が現場に赴かなくとも多数の施設をサポートできる仕組みがつくられている」と高く評価されました。

<GODAクラウドイメージ図>



### 【グッドデザイン賞応募の背景】

環境省の地球温暖化対策計画によって定められた、日本のCO<sub>2</sub>総排出量を2030年度に26%削減(2013年度比)する目標に対し、ビル施設など業務部門からのCO<sub>2</sub>排出量は1990年頃から大幅に増加しており、効果的な削減が喫緊の課題となっています。ビル施設でのエネルギーの運用改善は、室温設定や電源ON/OFFといった”オモテの省エネ”だけでは不十分で、空調設備機器の圧力、流量、冷温水や蒸気などの運転パラメータを最適化する”ウラの省エネ”を行う必要があります。しかし、その最適値を導き出すには、設備の稼動情報を元に膨大な分析シミュレーションが不可欠となり、またそれらデータを分析するには専門知識やノウハウを有する専門家が必要ですが、それら人材も不足しているのが現状です。

当社とパナソニック株式会社 エコソリューションズ社はパナソニック東京汐留ビルで、GODAクラウド/SatToolクラウドを用いた省エネルギー活動が大変有効であることを実証しており、他方、一昨年よりシステムのクラウド化を進め、環境省の「エコチューニング(\*3)ビジネスモデル確立事業」でのエコチューニングのツールとしても採用されております。

今般、GODAクラウド/SatToolクラウドのこれらの実績を踏まえ、広く社会に省エネ支援に有効な仕組みがあることをお知らせすることを目指し、グッドデザイン賞に応募いたしました。

### 【GODAクラウドの今後の展開】

GODAクラウド/SatToolクラウドの利用実績から、複数年にわたる継続したコンサルティングが省エネルギーに大きく寄与することが明らかになっています。この度のグッドデザイン賞は当社として初受賞になりますが、受賞のシンボルである「Gマーク」は優れたデザインを示すシンボルマークとして広く親しまれており、その認知度を活用することで、当社と当社グループ会社が協力して、省エネルギーサービスとそれに対応する設備総合管理の実施、さらにはファシリティ・マネジメントのサービスツールとして積極的に顧客施設への導入を図っていきます。

### 【グッドデザイン賞審査員による評価コメント】

ビル施設のエネルギー使用量や空調設備などの運転データをクラウド上に保存し、分析ツールを活用して現場運用者と分析内容を共有できるようにすることにより、高度なエコチューニングスキルを有する専門家が都度現場に赴かなくとも多数の施設をサポートできる仕組みがつくられている。短期的には品質向上とコスト削減を実現できるのに加えて、長期的には収集したデータを機械学習などと組み合わせることによりスケールさせることも期待できる。

グッドデザイン賞公式サイト(当社掲載ページ)

<http://www.g-mark.org/award/describe/46007?token=Gqj5swyPkf>

#### (\*2)グッドデザイン賞とは

グッドデザイン賞は、1957年に創設された「グッドデザイン商品選定制度」を発端とする、日本で唯一の総合的なデザイン評価・推奨の運動です。これまで60年にわたり、デザインを通じて日本の産業や生活文化を向上させる運動として展開され、のべ受賞件数は40,000件以上にのぼります。今日では国内外の多くの企業や団体などが参加する世界的なデザイン賞です。

#### (\*3)エコチューニングとは

「エコチューニング」は環境省の登録商標であり、低炭素社会の実現に向けて、業務用等の建築物から排出される温室効果ガスを削減するため、建築物の快適性や生産性を確保しつつ、設備機器・システムの適切な運用改善等を行うことを言います。

以上

### 報道関係からのお問合せ先

経営企画部 広報室 鷺尾、土屋まで TEL 03(6369)8215(直通)  
鷺尾 携帯: 090-4437-3858 E-mail: masaki\_washio@tte-net.com  
土屋 携帯: 080-9347-5316 E-mail: takuhito\_tsuchiya@tte-net.com